

> 企業市民活動

# 企業市民活動

## 企業市民活動の考え方

考え方・方針

ニコングループは、良き企業市民でありたいと願い、社会や地域とともに発展するため、企業市民活動に取り組んでいます。2020年12月、「ニコン社会貢献活動方針」を「ニコン企業市民活動方針」に改定し、この考えを明確にするとともに、主に次の世代を対象とした活動を推進する姿勢を示しました。

ニコングループの企業市民活動が、社会や地域にとっても、自社にとっても、ともに有意義なものとなるよう、新たな方針に基づいて推進しています。

[ニコン企業市民活動方針](#)

<https://www.nikon.co.jp/sustainability/citizenship/>

### 2021年3月期の主な実績

ニコングループが企業市民活動によって後押しした「次の世代」

14,244名

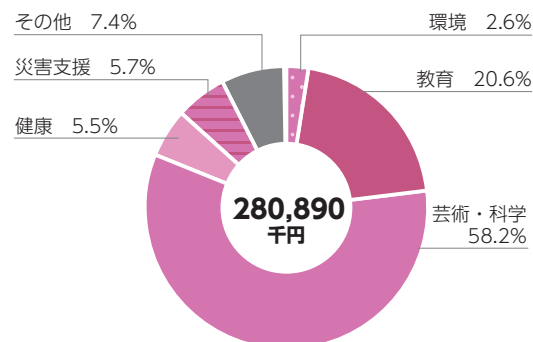
## 企業市民活動の推進体制

仕組み・体制

ニコングループでは、CSR委員会を中心としたCSR推進体制の中で、グループ全体の企業市民活動を推進しています。なお、年1回のニコングループ企業市民活動調査により、ニコングループ各社の取り組みが活動方針に沿ったものになっているかをモニタリングし、その結果をCSR委員会に報告しています。

[サステナビリティ推進体制\(▶P9\)](#)

### 企業市民活動の支出額 (2021年3月期)



## ● 企業市民活動への従業員参加

ニコングループでは、従業員が企業市民活動へ参画するための環境づくりに取り組んでいます。ニコンの「ボランティア休暇制度」のように制度によるサポートを行うとともに、従業員が参加しやすい活動を企画し、参加を呼びかけています。

### ニコングループの企業市民活動の従業員参加人数

2021年3月期実績(のべ)	1,888名
----------------	--------

> 企業市民活動

主な企業市民活動

活動・実績

●地球環境を次の世代へつなぐ

ニコングループでは、地球環境を次の世代へつなぐことをめざし、子どもたちへの環境啓発活動に取り組んでいます。

ニコンでは、生物多様性復元計画「赤谷プロジェクト」の支援の一環として、子どもたちに向けた冊子「赤谷ノート」を企画・制作して無償で配布しています。2021年3月期には、教育機関などに240冊を配布しました。また、Nikon Europe B.V.(オランダ)では、国際環境教育NGOのFoundation for Environmental Education(FEE)のオランダ支部と協働し、ニコンの実体顕微鏡「ファールフォト」を使った環境教育プログラム「Light on Small」を提供しています。2021年3月期は、オランダ国内の405名の子どもたちがこの教材を活用しました。

[生物多様性の保全・復元への支援\(▶P72\)](#)

ニコングループの環境啓発の取り組みに参加した子どもたち

2021年3月期実績	645名
------------	------



写真とイラストをふんだんに使った、森の生き物を題材に生物多様性を学べる「赤谷ノート」

Column

生物多様性保全に技術で協力

ニコンは、「赤谷プロジェクト」で行われている野生動物モニタリング調査に、自社の技術でも協力しています。

ニコンは、公益財団法人日本自然保護協会と協働し、この調査で収集される膨大な画像データから、動物が撮影された画像のみを抽出する動物画像自動検出アプリケーションを開発しました。深層学習の技術により開発したこのアプリは、調査現場における作業負荷の軽減はもとより、人による動物画像の見落としの削減も実現しました。現在は、赤谷プロジェクトの喫緊の課題である、ニホンジカの低密度管理へのアプリの応用に取り組んでいます。



日本自然保護協会と共同で開発した動物画像自動検出アプリケーション

●子どもたちが将来を描くために

ニコングループでは、自社製品に関わりのある地域を中心に、経済的な理由で学校に通うことが困難な子どもたちの就学支援に取り組んでいます。

ニコン、Nikon (Thailand) Co., Ltd.(タイ)、Nikon Lao Co., Ltd.(ラオス)の3社では、国際教育NGOを通じタイとラオスで奨学金を支給しています。タイでは、2021年3月期中・高校生と大学生171名に奨学金を支給し、14年間の支給人数はのべ2,408名となりました。ラオスでは、毎年100名の中学生に奨学金を支給しており、7年間で支給人数はのべ700名となりました。

また、国内ニコングループは、開発途上国の子どもたちの健康の向上とともに、通学のきっかけにつながる、国際連合世界食糧計画(国連WFP)の学校給食支援に協力しています。2021年3月期は、145名の1年間の通学を支えられる学校給食36,272食分の1,088,153円を寄付しました。

ニコングループの就学応援で学校に通えた子どもたち

2021年3月期実績	416名
------------	------



タイの奨学金は公益社団法人シャンティ国際ボランティア会、タイのシーカー・アジア財団を通じて支給

> 企業市民活動

● 未来を拓く次の世代を応援

ニコングループでは、これからの産業や芸術・文化を担う人材を発掘・育成する活動に取り組んでいます。

ニコンイメージングジャパンでは、写真文化の普及・向上を目的に開設した写真展示場「ニコンサロン」において、新進写真家による最も優れた作品展に対し「三木淳賞」を贈呈しています。またニコンでは、東京大学生産技術研究所に開設する「ニコンイメージングサイエンス寄付研究部門」により次代の光学産業をリードする技術者の育成に協力しているほか、ラオス国立サバナケット大学でのニコン・JICA奨学金により日本語の分かる産業人材の育成に協力しています。海外グループ会社においても、写真業界をめざす若者への奨学金事業や、地域の学校におけるSTEM教育<sup>\*</sup>プログラムの支援などに取り組んでいます。

<sup>\*</sup>科学(Science)・技術(Technology)・工学(Engineering)・数学(Mathematics)といった教育分野の総称。

ニコングループの人材発掘・育成の取り組みに参加した人数

2021年3月期実績	13,183名
------------	---------

<sup>\*</sup>「ニコンフォトコンテスト」は隔年開催のため、「2020-2021」の応募人数26,167名の半数を2021年3月期の実績とする。



ラオス国立サバナケット大学でのニコン・JICA奨学金の奨学生40名のうち、16名が日本語学科の学生。そのほかの学生は、IT、電気工学、経営などを専攻する

● 地域の幸せを未来に受け継ぐ

ニコングループでは、より良い地域を未来へ受け継ぐことを願い、地域の人々の幸せと健康に貢献する活動に取り組んでいます。

Nikon India Private Limited(インド)

SOS Children's Villages of India の活動を通じて、社会的養護が必要な子どもたち40名に対する家庭養育環境の提供に貢献しています。

Optos Plc(イギリス)

無償で医療アイテムを患者に配送するボランティア・グループ、Blood Bikes Scotland の支援を通じて、地域医療に貢献しています。



Optos Plcが支援するBlood Bike Scotland

Nikon Precision Inc.、Nikon Research Corporation of America (アメリカ)

地域のフードバンク支援を通じて、経済的に困窮する家庭や子ども、ホームレス、高齢者施設などへ栄養価の高い食事を届ける活動に貢献しています。

● 災害支援

ニコングループは、大規模な災害が発生した場合、企業市民として地域との関係性を踏まえ、緊急支援を行っています。

ニコングループでは、2021年3月期に、令和2年7月豪雨災害に対し義援金による緊急支援を行いました。また、2020年1月以降、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う支援活動として、感染症対策、基礎研究推進、医療現場援助の観点から、さまざまな支援を実施しました。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う主な支援活動

感染症対策	WHOのための新型コロナウイルス感染症連帯対応基金、中国慈善総会、インド政府系基金「PM CARES Fund」への寄付
基礎研究推進	筑波大学医学医療系 感染生物学部門、順天堂大学医学部 神経生物学・形態学講座でのウイルス解明の基礎研究への寄付
医療現場援助	医療機関や自治体などへの仙台ニコン製フェイスシールドや、事業所備品 (N95マスク、クリーンルーム着など)の寄贈

関連情報

「企業市民活動」に関する詳細は、ウェブサイトをご覧ください。

[企業市民活動](https://www.nikon.co.jp/sustainability/citizenship/)

<https://www.nikon.co.jp/sustainability/citizenship/>